

## リカレント教育の推進について

### 1 テーマ設定の理由

- 社会構造の大きな変化の中で、高校や大学で学んだことが生涯にわたって役に立つ時代ではなく、学び直しが必須・前提となる
- 社会に求められる人材としてのスキルを得るための生涯教育の充実が重要

### 2 現在の主な取組

#### (1) 千葉県生涯学習推進方針の策定

県民が学びの成果を地域社会や地域産業での活躍につなげることができるよう、本県の新たな生涯学習の推進方針を策定中（令和5年5月策定予定）

#### (2) ジョブサポートセンター事業

子育て中の女性や中高年齢者などを対象に、生活就労相談、再就職支援セミナーや職業訓練等の情報提供、職業紹介等を実施  
（延べ利用者数：8,084人、就職者数：508人）

#### (3) 県立高等技術専門学校における職業訓練の実施

県立高等技術専門学校で行う施設内訓練として、在職者等に対する職業訓練を実施

#### (4) 離職者等再就職訓練事業

ハローワーク等で求職申込を行っている離職者等を対象に、再就職に向けた支援を行うため、専修学校、NPO、企業などに委託して職業訓練を実施

### 3 リカレント教育推進の課題

- 学び直しの動機づけとなる学習機会の提供が必要
- 職業上で学習成果を生かすための学習相談体制の整備が必要
- 社会変化に対応した学習を推進するための企業・大学等との連携体制が必要

### 4 令和5年度の取組

#### (1) 「学びの総合窓口」の整備【新規】

これまでの趣味・教養、社会貢献等の学びに加え、職業につながる学びや支援に関する情報等の幅広い学習情報を収集整理（一部提供開始）。

令和6年度から、幅広く収集した学習情報を基に、キャリアコンサルタントや社会教育士を活用し、学習者の要望に応じた最適な学びを案内する「学びの総合窓口」の整備を予定。

**(2) 産業人材の育成につながるリカレント講座の実施【新規】**

業界に精通した方を講師とし、その業界で求められる人材像やスキル等の概観やキャリア形成の重要性などを学び、学び直しの動機付けとなる講座をオンラインで実施する。また、「学びの総合窓口」の整備に向け、講座に併せて学習相談を実施する。

**(3) リカレント教育の推進に係る企業調査【新規】**

県内企業経営者等を対象とした、従業員の学び直しに期待する学習分野やレベル、実施形態等の調査、従業員の学び直しに向けた支援や評価の状況等についての調査を行い、今後の本県におけるリカレント教育推進施策の参考とする。

**(4) 産学官の連携体制の構築【新規】**

産業界や教育機関、行政により組織されるリカレント教育推進協議会を設立し、本県における課題や産業界のニーズ等を共有するとともに、今後のリカレント教育推進のあり方を検討し、取組を協議する。

**(5) ジョブサポートセンター事業**

在宅ワークを希望する求職者向けに、在宅ワークに関する基礎知識やビジネススキルに関する講座等を実施するほか、在宅ワーカー活用企業の開拓等を行う「在宅ワークファーストステップ支援事業」を実施

**(6) 県立高等技術専門校における職業訓練の実施**

デジタル化の進展に対応するため、高等技術専門校の全ての訓練科でITリテラシーに係る訓練を実施

# 千葉県生涯学習推進方針（原案） 概要版

## 方針の趣旨

人生100年時代・Society5.0の到来、社会的包摂の必要性の高まりなど、生涯学習をめぐる環境が大きく変化する中で、県民一人一人が、いつでも、どこでも学ぶことができ、その成果を生かし、生涯にわたり活躍し続けられる社会の実現を図るため、本県における生涯学習を推進するための方針を定めるもの。

## 位置づけ

「千葉県総合計画～新しい千葉の時代を切り開く～」及び「千葉県教育振興基本計画」の趣旨を踏まえ、県民の生涯学習に関する施策を、総合的かつ計画的に推進するもの。

## 方針の期間

令和5年度から14年度までの10年間（今後、5年を目途に見直しを予定）

## 第1章 千葉県の現状と課題

### 生涯学習をめぐる現状認識

#### ○社会情勢

- ・人生100年時代の到来 職場や職種の転換の機会が増え、学び直しの機会の充実が必要。地域活動などの社会貢献も生涯学習の重要な要素。
  - ・Society5.0に向けて 技術革新が急速に進み、社会の劇的な変化に対応する学び直しが必要。特に産業界では、新たな知識や技能に関する学び直しの充実が求められている。また、学びの機会の充実には、ICTなどの先端技術の利活用が必要。デジタルデバйд解消も必要。
  - ・社会的包摂の必要性 SDGsの国際目標「すべての人々への包摂的かつ公正な質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進」の実現には、多様な主体との連携・協働が必要。
- #### ○生涯学習の状況
- ・生涯学習をしたことが無い人の割合が高い。（約4割から5割程度）
  - ・学習に際しての課題は時間や場所等の制約が最も多く、ICT等の活用による課題解決が求められている。

### 千葉県における生涯学習推進の現状と課題

#### 学びの場の提供

- 趣味・教養・社会貢献等の学びは、県や市町村の社会教育機関及び民間教育機関において充実。
- 職業につながる学びは、大学や職業訓練機関等により、専門的・実践的な学びを提供。県、市町村の社会教育機関においても、学びのきっかけづくりや、専門的・実践的な学びへの接続に関する取組が必要。
- ICTなどの先端技術を活用した学びが必要。

#### 学びに関する情報提供

- 県、市町村及び民間の教育機関が、各々の学習情報を提供。総合的な学習情報の提供と、学習者の要望に応じた学びを案内する体制の整備が必要。

#### 学習成果を社会に生かす仕組み

- 学び直しの適切な評価が行われる環境づくりが必要。
- 学習履歴を記録する「生涯学習パスポート」（県教育委員会発行）の普及が必要。

#### 多様な主体との連携・協働

- 県や市町村の社会教育機関及び民間教育機関は、各機関が講座提供等の際に、必要に応じ連携。生涯学習を総合的かつ効果的に推進するための、連携体制の整備が必要。

## 第2章 生涯学習推進の方向性

### 生涯学習推進の目標

「社会とつながる生涯学習」

～いつでも、どこでも、誰でも学ぶことができ、その成果を生かして活躍できる生涯学習社会の実現～

### 実現のための視点

- 生涯にわたる社会での活躍の推進
- 県・市町村・民間による役割分担と相互の連携・協働
- ICT活用を含めた適切な方法による学習の推進

### 生涯学習推進の方向性

県民一人一人が地域社会での活躍や産業人材としての活躍を続けられるよう、官民連携により、県全体で生涯学習を推進する。

柱	項目	県の役割	市町村に期待する役割	民間への期待
多様な学習機会の充実	学習機会の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味・教養等の学び</li> <li>市町村・民間で実施困難な取組を全県的に提供</li> <li>・職業につながる学び</li> <li>学び直しの動機付け、専門的・実践的な学びに接続する講座の提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・趣味・教養等の学びの充実</li> <li>・障害者の学び支援につながる取組を拡大</li> <li>・デジタルデバイスで解消につながる学習機会の充実</li> <li>・キャリア教育等の職業につながる講座の提供、専門書籍の活用</li> <li>・オンライン環境の整備・講座の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜企業、民間教育機関、NPO・団体等＞</li> <li>・各機関、団体の特性を生かした学習機会の充実</li> <li>＜高等教育機関＞</li> <li>・専門的なりカレント教育の充実</li> <li>・教育・研究成果を活用した公開講座の充実</li> </ul>
	学習環境の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県民の学習意欲の喚起</li> <li>・オンラインを含む様々な方法を選択し、効果的に学習機会を提供</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・オンライン環境の整備・講座の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜企業＞</li> <li>・学びたい人が学べる環境の整備</li> </ul>
情報提供に関する充実	多様な学習情報の提供	<ul style="list-style-type: none"> <li>・民間・市町村と連携し、幅広い学習情報の収集・体系化・提供</li> <li>・情報提供システムの、様々な場面での周知・活用の促進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県への学習情報の提供、県に集約化された学習情報の活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県への学習情報の提供、県に集約化された学習情報の活用</li> </ul>
	社会での活躍につながる学習相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習者の要望に応じた最適な学びを案内する体制の構築（社会教育士やキャリアコンサルタントの活用、伴走型支援）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身近な住民からの学習相談体制の整備（相談内容に応じて県の窓口につなぐ）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜高等教育機関、民間教育機関、NPO・団体等＞</li> <li>・学習者からの学習相談への対応（相談内容に応じて県の窓口につなぐ）</li> </ul>
学習成果を社会に生かす仕組みづくり	学習者と社会をつなぐ仕組みの構築	同上	同上	同上
	学習成果の適切な評価	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経験やスキルを的確に示すツール「生涯学習パスポート」の機能充実、社会における適切な評価に活用</li> <li>・産業界での評価には、「ジョブ・カード」など既存の仕組みにつなぐ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生涯学習パスポート」の情報を活用し、その人材を地域での活躍の場につなぐ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜企業＞</li> <li>・社員の学び直しの成果を適切に評価する体制の整備</li> </ul>
多様な主体との連携・協働の推進	生涯学習を支える人材の活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生涯学習を支える人材の育成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域における生涯学習を支える人材として活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜NPO・団体等＞</li> <li>・各主体における生涯学習を支える人材の活用</li> </ul>
	連携・協働体制の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生涯学習推進に関する県と市町村の包括的な連携体制の構築</li> <li>・リカレント教育に関する産官の連携体制の構築</li> <li>・地域課題に応じた幅広い分野の連携体制構築の支援</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題に応じた幅広い分野との連携・協働体制のさらなる充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜企業、高等教育機関、民間教育機関、NPO・団体等＞</li> <li>・各主体の教育資源を活用し、公共機関等と連携</li> <li>＜NPO・団体等＞</li> <li>・団体間の連携・協働の充実</li> </ul>
	社会教育人材育成の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・社会教育主事・社会教育士の育成や活用の促進・支援</li> <li>・社会教育関係者の研修の体系化、効果的な実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県の研修の活用、地域課題に対応した研修の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>＜NPO・団体等＞</li> <li>・指導者の育成の充実</li> </ul>

# 学び直しによる生涯にわたる活躍イメージ

→ 県民の学びの流れ      - - -▶ 情報の収集の流れ

